

## 自動車リサイクルシステムの車両状況照会機能拡充について

本年9月18日(火)に開かれた第21回資金管理業務諮問委員会において、車両状況照会機能の拡充(以下、本機能という)に要する費用が指名競争入札の結果で確定すること、及び平成20年5月から本機能を提供するためには10月に応札ベンダーと契約を取り交わし詳細な検討を行う必要があることから、本機能の開発に要する費用の充当枠について審議・承認をいただいたところ。

その後、財団法人自動車リサイクル促進センターは経済産業省・環境省と合同で「アプリケーション開発」と「アプリケーション保守」に要する費用について必要機能・性能を精査した上で、費用の低減を目的とした指名競争入札の実施により、「アプリケーション開発」と「アプリケーション保守」を行うベンダーの選定、本機能に要する費用及び機能の要件が確定した。

## 1. 車両状況照会機能の拡充に要する費用(初期費用と維持・運用費用)

「アプリケーション開発」と「アプリケーション保守」を行うベンダー選定について、財団法人自動車リサイクル促進センターは自動車リサイクルシステムの設計・開発で実績がある日本アイ・ビー・エム株式会社、株式会社日立製作所を指名して競争入札を行った。

各社からの提案内容(機能及びサービスの提供)については両社に大きな差は認められず、一方で入札価格については日本アイ・ビー・エム株式会社がより安価な価格を提示。

以上のことから、受託業者を日本アイ・ビー・エム株式会社と決定した。

車両状況照会機能拡充に要する費用		当初想定総費用	確定費用(税込み)	
			総費用	内訳
初期費用	アプリケーション開発	約 500 百万円	397 百万円	87 百万円
	データセンター構築			310 百万円
運用費用	アプリケーション保守	約 50 百万円～80 百万円	63 百万円	17 百万円
	データセンター維持・運用			46 百万円

第21回資金管理業務諮問委員会で承認いただいた充当枠は5億円(アプリケーション開発2.5億円、データセンター構築2.5億円)。

※上記太枠は、指名競争入札の範囲を示す。

初期費用……………第21回資金管理業務諮問委員会で承認いただいた特定再資源化預託金等からの充当枠は5億円であったところ、必要機能・性能を精査の上で「アプリケーション開発」と「アプリケーション保守」の指名競争入札の実施により約103百万円の費用低減ができた。

維持・運用費用…「アプリケーション開発」と「アプリケーション保守」の指名競争入札の実施により想定範囲内に収めることができた。

## 2. 車両状況照会機能拡充の概要

財団法人自動車リサイクル促進センターは、車両状況照会機能の拡充について検討WGを設置して経済産業省・環境省と合同で検討を行い、次の通り機能の要件を定義した。

### (1) 稼働要件

No	項目	要件	
1	稼働開始予定日	平成20年5月6日	
2	稼働時間	7:00～24:00(システムの計画停止日は稼働停止)	
3	車両の検索方法	検索方法1	車台番号下4桁+登録番号/車両番号
		検索方法2	車台番号下4桁+リサイクル券番号(移動報告番号)
4	情報の更新頻度	日次で更新(閲覧画面に、いつ時点の情報なのかを表示)	
5	閲覧情報の保持期間	使用済自動車として引取報告が完了してから5年間。	
6	性能	拠点におけるレスポンスタイムはインターネット64Kbps以下を利用した場合、『最大8秒以内』を目標。	
7	機能の停止時間	障害による閲覧停止時間は30分以内。	
8	利用者の必要なパソコンの環境	OS 対応:Windows 2000、Windows XP、Windows Vista ブラウザ対応:InternetExplorer5. 5、6. 0、7. 0対応	

### (2) 閲覧可能な情報

No	項目	要件
1	車両の情報	車台番号、登録番号/車両番号、車名、装備の有無、解体報告記録日※
2	使用済自動車の処理(移動報告)の情報	各工程の処理完了・未了の状況表示(引取→フロン→解体→破碎) 各工程の引取日・引渡日 各工程の処理について遅延の有無
3	引取業者の情報	自治体登録番号、事業所名称、所在地、電話番号

※情報管理センターから国土交通省等へ通知する情報

## 3. 今後のスケジュール

12月末～1月初 システム稼働停止期間中に設備を設置  
平成20年5月 GW システム稼働停止期間中に機能を入替  
再開後、車両状況照会の拡充機能の提供開始

以上